

平成28年度事務事業総点検 評価シート

事業番号	1053	所属	市民生活部中央図書館まちなか連携係			起案者	秋山真彦
事業名	南吉まちづくり推進事業				決裁者	岡田知之	
事業区分	<input type="checkbox"/>	義務的	<input type="checkbox"/>	経常的	<input checked="" type="checkbox"/>	政策的	連絡先 0566-76-1400 内線
	事務事業の分類 <input checked="" type="checkbox"/> 企画計画立案 <input type="checkbox"/> 調査・研究 <input type="checkbox"/> 規制、指導 <input type="checkbox"/> 育成・支援・相談 <input type="checkbox"/> 内部管理 <input checked="" type="checkbox"/> 広報・普及啓発 <input type="checkbox"/> 徴収・収納 <input type="checkbox"/> 補助・助成・手当・サービス給付 <input type="checkbox"/> 施設管理 <input type="checkbox"/> 窓口、受付 <input type="checkbox"/> 用地取得・処分 <input type="checkbox"/> 検査・審査・監査 <input type="checkbox"/> 施設設計・建設 <input checked="" type="checkbox"/> イベント・講座 <input type="checkbox"/> 現業業務 <input type="checkbox"/> その他						

Plan【事業概要】

総合計画体系	第7次	5-4-1-2-1		予算科目	会計	一般会計		
	第8次	9-1-①			款	10	総務費	
		9-3-①			項	05	総務管理費	
					目	20	企画費	
市長マニフェスト	<input checked="" type="checkbox"/>	該当	<input type="checkbox"/>	非該当	H28当初予算説明書該当ページ		65	
実施計画	<input type="checkbox"/>	該当	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当				
総合計画以外の計画	南吉まちづくり指針							
根拠法令	無							
議会答弁	有 H26.9.2定例会:魅力的な中心市街地をつくり出すため、ウォールペイントやオブジェなど増やしていく。							
陳情・市民要望	無							
実施方法	一部委託	委託先	民間企業					
実施期間	開始	平成 26 年度			終期	平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> なし		
求める成果 (目的)	誰(受益者)が			~になる				
	市民が			新美南吉を活用したまちづくり事業に参画する				
事務事業の内容 (手段)	本市ゆかりの童話作家・新美南吉を活用したまちづくり事業を実施し、来訪者増加、交流人口増加を図ります。							
事務の内容	南吉ウォールペイント事業や新美南吉生誕祭の実施、南吉まちづくり事業に関する情報発信、他部署が実施する南吉まちづくり事業の調整 等							

Do【事業費(千円)、事業実績(活動・成果)】

	No	区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
			実績	実績	実績	予算
年間事業費等推移	① 歳出	事業費 (千円)	0	11,231	6,570	6,664
		需用費		359	147	913
		役務費		337	73	20
		委託料		8,195	6,100	5,481
		使用料及び賃借料				
		負担金、補助及び交付金		400		
		その他		1,940	250	250
	②	人件費	0	7,119	6,300	4,410
		正規職員 (人)		1.13	1	0.7
		臨時職員人件費 (千円)				
③	年間経費(①+②) (千円)	0	18,350	12,870	11,074	
④ 歳入	特定財源(市税等の一般財源以外) (千円)	0	1,060	150	0	
	国庫・県支出金 (千円)					
	受益者負担金 (千円)					
	その他 (千円)		1,060	150		
⑤	一般財源(③-④) (千円)	0	17,290	12,720	11,074	

平成28年度事務事業総点検 評価シート

活動実績	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度計画				
			南吉イベントの実施(5回) 関係課長級会議の実施(4回) 他部署での南吉まちづくり事業の実施(20件)	南吉イベントの実施(3回) 他部署での南吉まちづくり事業の実施(20件)	南吉イベントの実施(2回) 他部署での南吉まちづくり事業の実施(15件)			
成果	成果指標		単位	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	南吉関連イベント参加人数		人	目標		1000	2100	3000
				実績		2113	3001	
				目標				
実績								

Check【事業評価】

(1) 「事業の必要性」の検証・評価

(1)必要性	①行政関与の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 義務的な事務事業及び経常的な事務事業か <input checked="" type="checkbox"/> いいえ	→	④「事業の必要性」の評価
	②特定項目	<input type="checkbox"/> 国・県・民間事業者等が同様のサービスを行っている <input type="checkbox"/> 社会情勢の変化等により市民ニーズの必要性が低下している事業や市民ニーズを把握しておらずニーズが不明な事業である <input type="checkbox"/> 該当する	→	
	③第8次総合計画との関連性	<input type="checkbox"/> 第8次総合計画に体系付けられているか <input checked="" type="checkbox"/> いいえ	→	
④「事業の必要性」の評価	<input type="checkbox"/> 必要性が高い <input checked="" type="checkbox"/> E 継続 <input type="checkbox"/> 必要度が低い <input type="checkbox"/> D 廃止困難(必要性を再評価)	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> A 直ちに廃止 <input type="checkbox"/> B 30年度までに廃止 <input type="checkbox"/> C 33年度までに廃止 目標 年度	→	※2「改善の必要性」の評価へ
⑤事業を廃止した場合の影響・廃止困難な理由など				

※④で、A～Dのいずれを選択した場合も、⑤は必須。

⑤記載後 A～Cを選択している場合 → Action【今後の方向性】へ

Dを選択している場合 → 2「改善の必要性」の検証・評価以降、すべて記載

平成28年度事務事業総点検 評価シート

(2) 「改善の必要性」の検証・評価

(1)有効性	①目標に対する進捗状況	事業実施により意図した成果が得られているか検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 不十分 新美南吉を活用したまちづくりについて、年々認知度が上がっており、市外からの来訪者も増えていると考えます。									
	②成果向上の余地	今以上に成果が向上する可能性があるか検証し、判断の理由を記入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある 平成29年6月オープンのアフォーレにおいて、南吉ゆかりのピアノが設置されたり、図書情報館内に南吉コーナーが設置されるなど、南吉まちづくりの認知度がより向上するものと考えます。									
	③上位施策への貢献度	事業実施により上位の施策の実現に貢献しているか検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い 南吉をきっかけとした来訪者が増えることで、観光入込客数の増加に寄与できるものと考えます。									
(2)効率性	①民間活力等の活用	外部委託や指定管理者制度の導入、NPO等の活用による事業実施が可能か検証し、判断の理由を記入 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 可能 現状においても外部委託や市民団体による事業実施を実施していますが、今後更なる実施主体の増加を図ります。									
	②事業費の削減	現在の成果水準のまま事業費の削減が可能か検証し、判断の理由を記入 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 可能 南吉ウォールペイント事業及び南吉バルーン設置事業については一定の成果が上がったことから、平成28年度事業をもって終了します。									
	③事業の効率化・簡素化	実施方法の見直しや創意工夫により、事業の効率化・簡素化の可否を検証し、判断の理由を記入 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 可能 新美南吉生誕祭については平成29年度から指定管理者の事業とします。									
	④事務事業のスリム化	事務事業の統合や分割により、効果の向上を図ることができるか。できる場合は内容を記入 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 分割 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:30%;">既存の事務事業</td> <td style="width:20%;"></td> <td style="width:20%;"></td> <td style="width:30%;"></td> </tr> <tr> <td>再編後の事務事業</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (内容) <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"> <table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">削減額見込(概算)</td> <td style="padding: 2px; text-align: right;">3,581 千円</td> </tr> </table> </div>	既存の事務事業				再編後の事務事業				削減額見込(概算)
既存の事務事業											
再編後の事務事業											
削減額見込(概算)	3,581 千円										
(3)公平性	①事業規模・サービス水準	環境変化や他の自治体等との比較により、当市の事業規模やサービス水準の可否を検証し、判断理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 適正 <input type="checkbox"/> 過大 <input type="checkbox"/> 過小 他の自治体では実施していませんが、新美南吉を活用したまちづくりを進めるため、継続実施するべきと考えます。									
	②受益者負担	受益者負担の適否を検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 適正 <input type="checkbox"/> 過大 <input type="checkbox"/> 過小 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 問題ない <input type="checkbox"/> 検討必要 南吉探訪ガイドマップにおいて、南吉関連商品掲載店舗から協賛費を頂いています。									
「改善の必要性」の評価		<input checked="" type="checkbox"/> 有 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;"> <input checked="" type="checkbox"/> 見直し  <input type="checkbox"/> 拡充  <input type="checkbox"/> 縮小・統合                      目標 29 年度                 </td> </tr> </table> <input type="checkbox"/> 無(現状維持)	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 目標 29 年度								
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 目標 29 年度											

平成28年度事務事業総点検 評価シート

Action【今後の方向性】

改善取組	課題	活動実績・成果・事業評価の内容を踏まえて記入 市外や県外からの来訪者数や、市民の南吉まちづくりの認識度を確保する仕組みが整備されていないことが課題として挙げられますが、中長期的なまちづくり事業であることから、引き続き実施していく必要があると考えます。		
	改善取組	上記課題に対する平成28年度における改善取組 南吉まちづくりの認識度を確保することは困難ですが、南吉に関連するイベントへの参画団体等の拡大など、南吉に触れる、あるいは関わる団体等の機会を増やすことを継続的に実施していく予定です。		
主管課評価 (再掲)	事業の必要性		改善の必要性	
	必要性が低い	必要性が高い	見直し 目標 平成 29 年度 拡大 縮小・統合 現状維持	
	<input type="checkbox"/> A 直ちに廃止 <input type="checkbox"/> B 30年度までに廃止 <input type="checkbox"/> C 33年度までに廃止 目標 0 年度 <input type="checkbox"/> D 廃止困難	<input checked="" type="checkbox"/> E 継続		
評価の総括	南吉をきっかけとした「市外からの来訪者がいる」という南吉まちづくりの必要性の高さを踏まえた上で、関連事業ごとに必要性を考慮しつつ、南吉の認知度向上を通して交流人口等の増加のために引き続き実施していく必要があると考えます。			

平成28年度事務事業総点検 評価シート

事業番号	567	所属	市民生活部中央図書館まちなか連携係			起案者	水上貴夫
事業名	中心市街地拠点整備事業					決裁者	岡田知之
事業区分	<input type="checkbox"/>	義務的	<input type="checkbox"/>	経常的	<input checked="" type="checkbox"/>	政策的	連絡先
							0566-76-1400
事務事業の分類	<input type="checkbox"/>	企画計画立案	<input type="checkbox"/>	調査・研究	<input type="checkbox"/>	規制・指導	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	内部管理	<input type="checkbox"/>	広報・普及啓発	<input type="checkbox"/>	徴収・収納	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	施設管理	<input type="checkbox"/>	窓口、受付	<input type="checkbox"/>	用地取得・処分	<input type="checkbox"/>
	<input checked="" type="checkbox"/>	施設設計・建設	<input type="checkbox"/>	イベント・講座	<input type="checkbox"/>	現業業務	<input type="checkbox"/>
							育成・支援・相談
							補助・助成・手当・サービス給付
							検査・審査・監査
							その他

Plan【事業概要】

総合計画体系	第7次	3-4-1-1-5		予算科目	会計	一般会計		
	第8次	10-1-②			款	40	土木費	
					項	20	都市計画費	
					目	40	市街地整備費	
市長マニフェスト	<input checked="" type="checkbox"/>	該当	<input type="checkbox"/>	非該当	H28当初予算説明書該当ページ		251	
実施計画	<input checked="" type="checkbox"/>	該当	<input type="checkbox"/>	非該当				
総合計画以外の計画	中心市街地活性化基本計画、中心市街地拠点整備事業計画							
根拠法令	無							
議会答弁	有 H20.3.5定例会:図書館を核に、民間施設、広場を含む複合施設とする。							
陳情・市民要望	有 安城商工会議所、安城市商店街連盟、周辺住民より早期事業化の要望							
実施方法	一部委託	委託先	民間企業					
実施期間	開始	平成 20 年度			終期	平成 29 年度 <input type="checkbox"/> なし		
求める成果 (目的)	誰(受益者)が			~になる				
	市民が			交流とまちづくりの拠点として活用できるようになる				
事務事業の内容 (手段)	平成29年6月の供用開始に向け、拠点施設を整備します。							
事務の内容	PFI事業の進捗管理、事業に関する情報発信、周辺土地区画整理事業との調整 等							

Do【事業費(千円)、事業実績(活動・成果)】

	No	区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
			実績	実績	実績	予算
年間事業費等推移	① 歳出	事業費 (千円)	8,940	34,635	16,583	4,529,709
		需用費	395	395	18	8,000
		役務費	1	1		746
		委託料	8,045	34,212	14,694	26,500
		使用料及び賃借料	19	27		63
		負担金、補助及び交付金			1,815	
		その他	480		56	4,494,400
	② 人件費	人件費	16,380	17,955	17,955	10,080
		正規職員 (人)	2.6	2.85	2.85	1.6
		臨時職員人件費 (千円)				
③ 年間経費(①+②)		25,320	52,590	34,538	4,539,789	
④ 歳入	特定財源(市税等の一般財源以外) (千円)	100	160	750	4,450,000	
	国庫・県支出金 (千円)				700,000	
	受益者負担金 (千円)					
	その他 (千円)	100	160	750	3,750,000	
	⑤ 一般財源(③-④)		25,220	52,430	33,788	89,789

平成28年度事務事業総点検 評価シート

活動実績	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度計画			
	PFI事業契約締結(3/24)	設計協議(隔週) 建設工事着手(3月)	建設工事	建設工事	建設工事 公共施設棟引き渡し(12月)		

  

成果	成果指標		単位	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	設計進捗率	目標	%	目標	0	100		
		実績		実績	0	100		
	工事進捗率	目標	%	目標	0	3	40	96
実績		実績		0	3	40		

Check【事業評価】

(1) 「事業の必要性」の検証・評価

(1)必要性	①行政関与の必要性	義務的な事務事業及び経常的な事務事業か ■ いいえ	→	④「事業の必要性」の評価 必要性が高い ■ E 継続 ※2「改善の必要性」の評価へ
	②特定項目	<input type="checkbox"/> 国・県・民間事業者等が同様のサービスを行っている <input type="checkbox"/> 社会情勢の変化等により市民ニーズの必要性が低下している事業や市民ニーズを把握しておらずニーズが不明な事業である → <input type="checkbox"/> 該当する	→	
	③第8次総合計画との関連性	第8次総合計画に体系付けられているか → <input type="checkbox"/> いいえ	→	
④「事業の必要性」の評価	必要性が低い <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> D 廃止困難(必要性を再評価)	<input type="checkbox"/> A 直ちに廃止 <input type="checkbox"/> B 30年度までに廃止 <input type="checkbox"/> C 33年度までに廃止 目標 年度		
⑤事業を廃止した場合の影響・廃止困難な理由など				

※④で、A～Dのいずれを選択した場合も、⑤は必須。

- ⑤記載後 A～Cを選択している場合 → Action【今後の方向性】へ  
Dを選択している場合 → 2「改善の必要性」の検証・評価以降、すべて記載

平成28年度事務事業総点検 評価シート

(2) 「改善の必要性」の検証・評価

(1)有効性	①目標に対する進捗状況	事業実施により意図した成果が得られているか検証し、判断の理由を記入 ■ 順調 □ 不十分 工事の遅れ等無く、平成29年6月供用開始に向けて順調に進捗しています。							
	②成果向上の余地	今以上に成果が向上する可能性があるか検証し、判断の理由を記入 ■ ない □ ある 引き続き、PFI事業のモニタリングを適正に行い、事業の円滑な進捗に努めます。							
	③上位施策への貢献度	事業実施により上位の施策の実現に貢献しているか検証し、判断の理由を記入 ■ 高い □ 低い 総合計画及び中心市街地活性化基本計画に掲げる目標の達成に寄与するものと考えます。							
(2)効率性	①民間活力等の活用	外部委託や指定管理者制度の導入、NPO等の活用による事業実施が可能か検証し、判断の理由を記入 ■ 不可能 □ 可能 PFI事業により施設整備を実施しており、更なる取組みは困難です。							
	②事業費の削減	現在の成果水準のまま事業費の削減が可能か検証し、判断の理由を記入 ■ 不可能 □ 可能 既に事業費の削減が十分に行われており、これ以上の見直しは困難です。							
	③事業の効率化・簡素化	実施方法の見直しや創意工夫により、事業の効率化・簡素化の可否を検証し、判断の理由を記入 ■ 不可能 □ 可能 既に事務の効率化が十分に行われており、これ以上の見直しは困難です。							
	④事務事業のスリム化	事務事業の統合や分割により、効果の向上を図ることができるか。できる場合は内容を記入 ■ ない □ 統合 □ 分割 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:30%;">既存の事務事業</td> <td style="width:20%;"></td> <td style="width:20%;"></td> <td style="width:20%;"></td> </tr> <tr> <td>再編後の事務事業</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (内容)	既存の事務事業				再編後の事務事業		
既存の事務事業									
再編後の事務事業									
		削減額見込(概算) 千円							
(3)公平性	①事業規模・サービス水準	環境変化や他の自治体等との比較により、当市の事業規模やサービス水準の可否を検証し、判断理由を記入 ■ 適正 □ 過大 □ 過小 中心市街地の活性化に対するニーズは年々高まっており、継続実施するべきと考えます。							
	②受益者負担	受益者負担の適否を検証し、判断の理由を記入 □ ある □ 適正 □ 過大 □ 過小 ■ ない ■ 問題ない □ 検討必要 公共施設整備事業であるため、一般財源をもって実施することが適当であると考えます。							
「改善の必要性」の評価		□ 有 ( □ 見直し □ 拡充 □ 縮小・統合 目標 年度 ) ■ 無(現状維持)							

平成28年度事務事業総点検 評価シート

Action【今後の方向性】

改善取組	課題	活動実績・成果・事業評価の内容を踏まえて記入 特にありません。		
	改善取組	上記課題に対する平成28年度における改善取組 特にありません。		
主管課評価 (再掲)	事業の必要性		改善の必要性	
	<input type="checkbox"/> A 直ちに廃止 <input type="checkbox"/> B 30年度までに廃止 <input type="checkbox"/> C 33年度までに廃止 目標 0 年度 <input type="checkbox"/> D 廃止困難	<input checked="" type="checkbox"/> E 継続	<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	目標 平成 0 年度
評価の総括	平成28年12月に公共施設棟が竣工、平成29年4月に広場・公園が竣工し、本事業については終期を迎えます。本年度・次年度については引き続き現状のとおり事業を遂行します。			

平成28年度事務事業総点検 評価シート

事業番号	819	所属	市民生活部中央図書館施設管理係			起案者	天野美喜太
事業名	図書館施設管理事業					決裁者	岡田 知之
事業区分	<input type="checkbox"/>	義務的	<input type="checkbox"/>	経常的	<input checked="" type="checkbox"/>	政策的	連絡先
							0566-76-6111
事務事業の分類	<input type="checkbox"/>	企画計画立案	<input type="checkbox"/>	調査・研究	<input type="checkbox"/>	規制、指導	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	内部管理	<input type="checkbox"/>	広報・普及啓発	<input type="checkbox"/>	徴収・収納	<input type="checkbox"/>
	<input checked="" type="checkbox"/>	施設管理	<input type="checkbox"/>	窓口、受付	<input type="checkbox"/>	用地取得・処分	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	施設設計・建設	<input type="checkbox"/>	イベント・講座	<input type="checkbox"/>	現業業務	<input type="checkbox"/>
							育成・支援・相談
							補助・助成・手当・サービス給付
							検査・審査・監査
							その他

Plan【事業概要】

総合計画体系	第7次	4-1-1-4-1		予算科目	会計	一般会計		
	第8次	14-4-⑨			款	50	教育費	
					項	25	社会教育費	
					目	55	図書館費	
市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	該当	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	H28当初予算説明書該当ページ		313	
実施計画	<input type="checkbox"/>	該当	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当				
総合計画以外の計画	安城市図書館推進計画							
根拠法令	有	安城市図書館の設置及び管理に関する条例						
議会答弁	無							
陳情・市民要望	有	館内が暑いこと(多数)						
実施方法	一部委託	委託先	民間企業					
実施期間	開始	昭和 60 年度			終期	平成 29 年度 <input type="checkbox"/> なし		
求める成果 (目的)	誰(受益者)が			~になる				
	図書館の利用者が			快適、安全に利用できるようになる				
事務事業の内容 (手段)	図書館利用者が快適、安全に利用できるように施設を維持管理します。							
事務の内容	業者への委託、施工管理、必要備品の購入等							

Do【事業費(千円)、事業実績(活動・成果)】

	No	区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
			実績	実績	実績	予算
年間事業費等推移	① 歳出	事業費 (千円)	27,812	29,715	27,603	32,742
		需用費	14,384	15,588	13,911	16,633
		役務費	522	572	681	883
		委託料	8,415	8,519	8,279	8,796
		使用料及び賃借料	4,491	4,520	4,732	5,080
		負担金、補助及び交付金	0	4		0
		その他		512		1,350
	②	人件費	9,450	9,450	9,450	12,600
		正規職員 (人)	1.5	1.5	1.5	2
		臨時職員人件費 (千円)				
③	年間経費(①+②) (千円)	37,262	39,165	37,053	45,342	
④ 歳入	特定財源(市税等の一般財源以外) (千円)	0	0	0	0	
	国庫・県支出金 (千円)					
	受益者負担金 (千円)					
	その他 (千円)					
⑤	一般財源(③-④) (千円)	37,262	39,165	37,053	45,342	

平成28年度事務事業総点検 評価シート

活動実績	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度計画			
	冷温水発生機のLCDフロート交換を行いました。空調設備の気密不良箇所修繕及び結晶解晶作業を行いました。	玄関自動ドアの駆動部、センサーの修繕を行いました。閉架書庫の自動式書棚の修繕を行いました。	扉付コンセントの設置、冷温水器気密不良箇所の修繕等快適な空間作りへの工事、修繕等を行いました。	屋上天窓遮光フィルム貼付、タワーサーキュレーターの設定など新たな方法による館内環境の整備を行います。			

  

成果	成果指標	単位	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	施設管理に関するクレーム(意見等を含む)件数	件	目標	20	20	20	20
			実績	47	48	54	
	年間入館者数	人	目標	450000	450000	450000	450000
実績			392619	396049	389604		

Check【事業評価】

(1) 「事業の必要性」の検証・評価

(1)必要性	①行政関与の必要性	義務的な事務事業及び経常的な事務事業か <input checked="" type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> はい	→	④「事業の必要性」の評価 必要性が高い <input checked="" type="checkbox"/> E 継続 ※2「改善の必要性」の評価へ
	②特定項目	<input type="checkbox"/> 国・県・民間事業者等が同様のサービスを行っている <input type="checkbox"/> 社会情勢の変化等により市民ニーズの必要性が低下している事業や市民ニーズを把握しておらずニーズが不明な事業である <input type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない	→	
	③第8次総合計画との関連性	第8次総合計画に体系付けられているか <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> はい	→	
④「事業の必要性」の評価	<input type="checkbox"/> 廃止 必要性が低い <input type="checkbox"/> D 廃止困難(必要性を再評価)	<input type="checkbox"/> A 直ちに廃止 <input type="checkbox"/> B 30年度までに廃止 <input type="checkbox"/> C 33年度までに廃止 目標 年度		
⑤事業を廃止した場合の影響・廃止困難な理由など				

※④で、A～Dのいずれを選択した場合も、⑤は必須。

⑤記載後 A～Cを選択している場合 → Action【今後の方向性】へ

Dを選択している場合 → 2「改善の必要性」の検証・評価以降、すべて記載

平成28年度事務事業総点検 評価シート

(2) 「改善の必要性」の検証・評価

(1)有効性	①目標に対する進捗状況	事業実施により意図した成果が得られているか検証し、判断の理由を記入 □ 順調 ■ 不十分 平成28年度で閉館となるため、利用者の要望を満たすような大がかりな改修等が行えないためです。							
	②成果向上の余地	今以上に成果が向上する可能性があるか検証し、判断の理由を記入 ■ ない □ ある 平成28年度で閉館となるため、利用者の要望を満たすような大がかりな改修等が行えないためです。							
	③上位施策への貢献度	事業実施により上位の施策の実現に貢献しているか検証し、判断の理由を記入 ■ 高い □ 低い 利用者の利便性や快適な空間の提供が行えるためです。							
(2)効率性	①民間活力等の活用	外部委託や指定管理者制度の導入、NPO等の活用による事業実施が可能か検証し、判断の理由を記入 ■ 不可能 □ 可能 平成28年度で閉館となるためです。							
	②事業費の削減	現在の成果水準のまま事業費の削減が可能か検証し、判断の理由を記入 ■ 不可能 □ 可能 平成28年度も中央図書館の運営において、利用者からの館内の快適な空間への要望があり、今年度中は可能な範囲での対応が必要なためです。							
	③事業の効率化・簡素化	実施方法の見直しや創意工夫により、事業の効率化・簡素化の可否を検証し、判断の理由を記入 ■ 不可能 □ 可能 平成28年度も中央図書館の運営において、利用者からの館内の快適な空間への要望があり、今年度中は可能な範囲での対応が必要なためです。							
	④事務事業のスリム化	事務事業の統合や分割により、効果の向上を図ることができるか。できる場合は内容を記入 ■ ない □ 統合 □ 分割 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:30%;">既存の事務事業</td> <td style="width:20%;"></td> <td style="width:20%;"></td> <td style="width:20%;"></td> </tr> <tr> <td>再編後の事務事業</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (内容)	既存の事務事業				再編後の事務事業		
既存の事務事業									
再編後の事務事業									
		削減額見込(概算) 千円							
(3)公平性	①事業規模・サービス水準	環境変化や他の自治体等との比較により、当市の事業規模やサービス水準の可否を検証し、判断理由を記入 ■ 適正 □ 過大 □ 過小 利用者の要望からすると施設の修繕費が必要と考えられるが、残りの開館期間から換算して適性と判断します。							
	②受益者負担	受益者負担の適否を検証し、判断の理由を記入 □ ある □ 適正 □ 過大 □ 過小 ■ ない ■ 問題ない □ 検討必要 図書館の性質上、受益者に負担を求める事項はないと判断します。							
「改善の必要性」の評価		□ 有 ( □ 見直し □ 拡充 □ 縮小・統合 ) 目標 年度 ■ 無(現状維持)							

平成28年度事務事業総点検 評価シート

Action【今後の方向性】

改善取組	課題	活動実績・成果・事業評価の内容を踏まえて記入 平成28年度も中央図書館の運営において、利用者からの館内の快適な空間への要望がありますが、平成29年度のアフォーレ・図書情報館移転を見据え、今年度中は可能な範囲での対応に限られることです。	
	改善取組	上記課題に対する平成28年度における改善取組 平成28年度は、可能な範囲での利用者からの要望に対応していきます。	
主管課評価 (再掲)	事業の必要性		改善の必要性
	必要性が低い	必要性が高い	
	<input type="checkbox"/> A 直ちに廃止 <input checked="" type="checkbox"/> B 30年度までに廃止 <input type="checkbox"/> C 33年度までに廃止 目標 0 年度 <input type="checkbox"/> D 廃止困難	<input type="checkbox"/> E 継続	<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 現状維持
評価の総括	アフォーレへの移行に伴い、組織の再編が必然となるため、事務事業についてもこれまでの係の枠を取り払い現中央図書館すべての事務事業を洗い出し、再編することでより効果的な改善を図っていきます。		

平成28年度事務事業総点検 評価シート

事業番号	786	所属	市民生活部中央図書館図書係			起案者	加藤 康平
事業名	図書館資料貸出事業					決裁者	岡田 知之
事業区分	<input type="checkbox"/>	義務的	<input type="checkbox"/>	経常的	<input checked="" type="checkbox"/>	政策的	連絡先
							0566-76-6111
事務事業の分類	<input type="checkbox"/>	企画計画立案	<input type="checkbox"/>	調査・研究	<input type="checkbox"/>	規制、指導	<input checked="" type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	内部管理	<input type="checkbox"/>	広報・普及啓発	<input type="checkbox"/>	徴収・収納	<input checked="" type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	施設管理	<input checked="" type="checkbox"/>	窓口、受付	<input type="checkbox"/>	用地取得・処分	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	施設設計・建設	<input type="checkbox"/>	イベント・講座	<input type="checkbox"/>	現業業務	<input type="checkbox"/>
							<input type="checkbox"/>

Plan【事業概要】

総合計画体系	第7次	4-1-1-4-1		予算科目	会計	一般会計		
	第8次	14-4-①			款	50	教育費	
					項	25	社会教育費	
					目	55	図書館費	
市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	該当	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	H28当初予算説明書該当ページ		315	
実施計画	<input checked="" type="checkbox"/>	該当	<input type="checkbox"/>	非該当				
総合計画以外の計画	安城市新図書館基本計画・安城市図書館情報館ICT化基本構想・第3次安城市子ども読書活動推進計画							
根拠法令	有	図書館法・文字活字文化振興法・子どもの読書活動の推進に関する法律						
議会答弁	有	H27.9雑誌スポンサー制度の導入/H28.3貸出冊数の目標値・図書館資料の選定等						
陳情・市民要望	有	中央図書館利用者満足度アンケート(隔年度で実施)						
実施方法	直営		委託先					
実施期間	開始	昭和 24 年度			終期	平成 年度	<input checked="" type="checkbox"/> なし	
求める成果(目的)	誰(受益者)が			~になる				
	図書館を利用する市民が			必要とする図書館資料の提供を受けられるようになる				
事務事業の内容(手段)	利用者のニーズに応じた図書館資料を迅速かつ的確に選定・収集し、または他の図書館との相互貸借により提供します。							
事務の内容	図書館資料の貸出、レファレンスサービス、図書館資料の選定・収集・装備、相互貸借、公民館図書室等への配送、図書館システムの使用(維持管理含む)等							

Do【事業費(千円)、事業実績(活動・成果)】

	No	区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
			実績	実績	実績	予算
年間事業費等推移	① 歳出	事業費 (千円)	95,190	91,683	97,785	99,403
		需用費	6,106	5,256	5,752	6,387
		役務費	1	0	4,752	5,064
		委託料	2,835	216	416	716
		使用料及び賃借料	16,177	16,639	16,865	17,236
		負担金、補助及び交付金	0	0	0	0
		その他	70,071	69,572	70,000	70,000
	②	人件費	37,800	25,200	25,200	25,200
		正規職員 (人)	6	4	4	4
		臨時職員人件費 (千円)	0	0	0	0
③	年間経費(①+②) (千円)	132,990	116,883	122,985	124,603	
④ 歳入	特定財源(市税等の一般財源以外) (千円)	77	84	88	30	
	国庫・県支出金 (千円)	0	0	0	0	
	受益者負担金 (千円)	0	0	0	0	
	その他 (千円)	77	84	88	30	
⑤	一般財源(③-④) (千円)	132,913	116,799	122,897	124,573	

平成28年度事務事業総点検 評価シート

活動実績	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度計画			
	図書館資料の蔵書冊数 (669,699冊)	図書館資料の蔵書冊数 (688,858冊)	図書館資料の蔵書冊数 (717,527冊)	図書館資料の蔵書冊数 (730,000冊)			
図書館資料の受入冊数 (48,225冊)	図書館資料の受入冊数 (41,148冊)	図書館資料の受入冊数 (47,678冊)	図書館資料の受入冊数 (48,000冊)				

  

成果	成果指標	単位	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	市民1人あたり個人貸出冊数	冊	目標	11	10	10	10
			実績	10.0	9.7	9.5	
	市民の年間実利用者数	人	目標	35,000	33,000	33,000	33,000
実績			30,707	30,392	30,720		

Check【事業評価】

(1) 「事業の必要性」の検証・評価

(1)必要性	①行政関与の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 義務的な事務事業及び経常的な事務事業か <input type="checkbox"/> いいえ	→	④「事業の必要性」の評価
	②特定項目	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県・民間事業者等が同様のサービスを行っている <input type="checkbox"/> 社会情勢の変化等により市民ニーズの必要性が低下している事業や市民ニーズを把握しておらずニーズが不明な事業である <input type="checkbox"/> 該当しない	→	
	③第8次総合計画との関連性	<input checked="" type="checkbox"/> 第8次総合計画に体系付けられているか <input type="checkbox"/> いいえ	→	
④「事業の必要性」の評価	<input type="checkbox"/> 必要性が低い <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> D 廃止困難(必要性を再評価)	<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> E 継続 <input type="checkbox"/> 該当しない	※2「改善の必要性」の評価へ ( <input type="checkbox"/> A 直ちに廃止 <input type="checkbox"/> B 30年度までに廃止 <input type="checkbox"/> C 33年度までに廃止 目標 年度 )	
⑤事業を廃止した場合の影響・廃止困難な理由など				

※④で、A～Dのいずれを選択した場合も、⑤は必須。

⑤記載後 A～Cを選択している場合 → Action【今後の方向性】へ

Dを選択している場合 → 2「改善の必要性」の検証・評価以降、すべて記載

平成28年度事務事業総点検 評価シート

(2) 「改善の必要性」の検証・評価

(1)有効性	①目標に対する進捗状況	事業実施により意図した成果が得られているか検証し、判断の理由を記入 ■ 順調 □ 不十分 平成27年度に実施した「中央図書館利用者満足度アンケート」では、図書館サービス全般についての満足率は66%（不満率は5%未満）であり、質の高い図書館サービスを提供しています。	
	②成果向上の余地	今以上に成果が向上する可能性があるか検証し、判断の理由を記入 □ ない ■ ある 利用者の動向（予約・リクエスト）や安城市図書館協議会等の意見を反映させながら、図書館資料の選定・収集を行い、計画的な整備・充実を図ります。	
	③上位施策への貢献度	事業実施により上位の施策の実現に貢献しているか検証し、判断の理由を記入 ■ 高い □ 低い 質の高い図書館サービスの提供や利用者満足度の向上を目指した図書館運営を進めるためにも、蔵書の充実は重要な要素です。	
(2)効率性	①民間活力等の活用	外部委託や指定管理者制度の導入、NPO等の活用による事業実施が可能か検証し、判断の理由を記入 □ 不可能 ■ 可能 指定管理者制度で民間により運営されている図書館もありますが、当面の間は、市直営ならではの強みを活かした他の関係機関や団体等との連携、専門職員による利用者のニーズに沿った蔵書の充実や地域に密着した図書館サービスを提供します。	
	②事業費の削減	現在の成果水準のまま事業費の削減が可能か検証し、判断の理由を記入 □ 不可能 ■ 可能 雑誌スポンサー制度の導入により、消耗品費（雑誌）の削減が可能です。	
	③事業の効率化・簡素化	実施方法の見直しや創意工夫により、事業の効率化・簡素化の可否を検証し、判断の理由を記入 □ 不可能 ■ 可能 督促メールの送信により、印刷製本費（督促はがき）の削減が可能です。	
	④事務事業のスリム化	事務事業の統合や分割により、効果の向上を図ることができるか。できる場合は内容を記入 ■ ない □ 統合 □ 分割	
		削減額見込(概算)	300 千円
(3)公平性	①事業規模・サービス水準	環境変化や他の自治体等との比較により、当市の事業規模やサービス水準の可否を検証し、判断理由を記入 ■ 適正 □ 過大 □ 過小 他の公立図書館と比較しても、提供しているサービスの内容は高い水準ですが、図書館資料の一層の充実により多様化・高度化する学習ニーズに対応するため、継続実施するべきと考えます。	
	②受益者負担	受益者負担の適否を検証し、判断の理由を記入 □ ある □ 適正 □ 過大 □ 過小 ■ ない ■ 問題ない □ 検討必要 図書館法第17条で、「公立図書館は、入館料その他図書館資料の利用に対するいかなる対価をも徴収してはならない。」と規定されています。	
「改善の必要性」の評価		<p style="text-align: center;">■ 有</p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="font-size: 2em; margin-right: 10px;">{</div> <div style="text-align: left;"> <p>■ 見直し</p> <p>□ 拡充</p> <p>□ 縮小・統合</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">目標 29 年度 }</p> <p style="text-align: center;">□ 無(現状維持)</p>	

平成28年度事務事業総点検 評価シート

Action【今後の方向性】

改善取組	課題	活動実績・成果・事業評価の内容を踏まえて記入 市民の年間実利用者数は前年度実績を上回りましたが、まだ目標には達しておらず、今以上に質の高い図書館サービスを行うことができるような取組みや新たな利用者を開拓していく必要があると考えます。		
	改善取組	上記課題に対する平成28年度における改善取組 利用者のニーズに沿った蔵書の充実と窓口での接遇改善に努めます。 また、新たに構築する図書情報館のウェブサイト(平成29年2月開設)では積極的な情報の発信やサービスの提供を行います。		
主管課評価 (再掲)	事業の必要性		改善の必要性	
	必要性が低い	必要性が高い		
	<input type="checkbox"/> A 直ちに廃止 <input type="checkbox"/> B 30年度までに廃止 <input type="checkbox"/> C 33年度までに廃止 目標 0 年度 <input type="checkbox"/> D 廃止困難	<input checked="" type="checkbox"/> E 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 現状維持	目標 平成 29 年度
評価の総括	・運営方法の再検討の時点においても、「市の直営だからこそ質の高い図書館サービスが提供できている。」と評価をしていただけるよう、さらなる努力をしていきます。 ・雑誌スポンサー制度の導入による消耗品費及び督促メールの送信による印刷製本費の削減を図ります。			

平成28年度事務事業総点検 評価シート

事業番号	788	所属	市民生活部中央図書館図書係			起案者	加藤 康平
事業名	地域電子図書館構築事業					決裁者	岡田 知之
事業区分	<input type="checkbox"/>	義務的	<input type="checkbox"/>	経常的	<input checked="" type="checkbox"/>	政策的	連絡先
							0566-76-6111
事務事業の分類	<input type="checkbox"/>	企画計画立案	<input type="checkbox"/>	調査・研究	<input type="checkbox"/>	規制・指導	<input checked="" type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	内部管理	<input type="checkbox"/>	広報・普及啓発	<input type="checkbox"/>	徴収・収納	<input checked="" type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	施設管理	<input type="checkbox"/>	窓口、受付	<input type="checkbox"/>	用地取得・処分	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	施設設計・建設	<input type="checkbox"/>	イベント・講座	<input type="checkbox"/>	現業業務	<input type="checkbox"/>
							その他

Plan【事業概要】

総合計画体系	第7次	4-1-1-4-1		予算科目	会計	一般会計		
	第8次	14-4-①			款	50	教育費	
					項	25	社会教育費	
					目	55	図書館費	
市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	該当	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	H28当初予算説明書該当ページ		315	
実施計画	<input type="checkbox"/>	該当	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当				
総合計画以外の計画	安城市新図書館基本計画・安城市図書館情報館ICT化基本構想							
根拠法令	有	図書館法・文字活字文化振興法						
議会答弁	無							
陳情・市民要望	有	中央図書館利用者満足度アンケート(隔年度で実施)						
実施方法	一部委託	委託先	民間企業					
実施期間	開始	平成 18 年度			終期	平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> なし		
求める成果(目的)	誰(受益者)が			~になる				
	図書館を利用する市民が			ICT(情報通信技術)を活用した図書館サービスの提供を受けられるようになる				
事務事業の内容(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書、パンフレット、古文書(報告書・計画等の行政資料を含む)等の地域資料のデジタル化を推進し、デジタル化資料を検索・閲覧できる環境を整備します。</li> <li>・利用者向けインターネット端末を整備し、利用者の調査・研究や調べ学習のための外部データベースサービスを提供します。</li> </ul>							
事務の内容	地域資料の選別・デジタル化・アーカイブ化、外部データベースの選別・提供 等							

Do【事業費(千円)、事業実績(活動・成果)】

	No	区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
			実績	実績	実績	予算
年間事業費等推移	① 歳出	事業費 (千円)	3,851	1,378	1,323	1,384
		需用費	0	0	0	0
		役務費	0	0	0	0
		委託料	2,743	205	151	300
		使用料及び賃借料	1,108	1,173	1,172	1,084
		負担金、補助及び交付金	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
	②	人件費	3,150	3,150	3,150	3,150
		正規職員 (人)	0.5	0.5	0.5	0.5
		臨時職員人件費 (千円)	0	0	0	0
	③	年間経費(①+②) (千円)	7,001	4,528	4,473	4,534
	④ 歳入	特定財源(市税等の一般財源以外) (千円)	0	0	0	0
		国庫・県支出金 (千円)	0	0	0	0
受益者負担金 (千円)		0	0	0	0	
その他 (千円)		0	0	0	0	
⑤		一般財源(③-④) (千円)	7,001	4,528	4,473	4,534

平成28年度事務事業総点検 評価シート

活動実績	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度計画			
	地域資料のデジタル化 (ネガフィルム1,919点)	地域資料のデジタル化 (航空写真フィルム400点)	地域資料のデジタル化 (航空写真フィルム200点)	地域資料のデジタル化 (航空写真フィルム200点)	地域資料のデジタル化 (ネガフィルム2,000点)		
利用者向けインターネット 端末等の利用 (4,547人)	利用者向けインターネット 端末等の利用 (4,879人)	利用者向けインターネット 端末等の利用 (4,147人)	利用者向けインターネット 端末等の利用 (4,147人)	利用者向けインターネット 端末等の利用 (3,500人)			

  

成果	成果指標	単位	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	デジタル化資料(ウェブサイト) の閲覧件数		件	目標	3,500	4,000	4,500
実績				3,775	4,221	4,333	
利用者向けインターネット 端末等の利用回数		回	目標	9,000	9,000	9,000	7,500
			実績	6,562	7,232	6,081	

Check【事業評価】

(1) 「事業の必要性」の検証・評価

(1)必要性	①行政関与 の必要性	義務的な事務事業及び経常的な事務事業か  ■ いいえ	→	④「事業の必要性」 の評価	
	②特定項目	<input type="checkbox"/> 国・県・民間事業者等が同様のサービスを行っている <input type="checkbox"/> 社会情勢の変化等により市民ニーズの必要性が低下して いる事業や市民ニーズを把握しておらずニーズが不明な 事業である ↓ <input type="checkbox"/> 該当する	→		
	③第8次総 合計画との 関連性	第8次総合計画に体系付けられているか  □ いいえ	→		
④「事業の必要性」 の評価		<input type="checkbox"/> 必要性が低い <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> A 直ちに廃止 <input type="checkbox"/> B 30年度までに廃止 <input type="checkbox"/> C 33年度までに廃止 目標 年度 ) <input type="checkbox"/> D 廃止困難(必要性を再評価)		□ はい □ はい ■ 該当 しない □ はい	必要性和高い ■ E 継続 ※2「改善の必要性」の 評価へ
⑤事業を廃止した場合の 影響・廃止困難な理由な ど					

※④で、A～Dのいずれを選択した場合も、⑤は必須。

⑤記載後 A～Cを選択している場合 → Action【今後の方向性】へ

Dを選択している場合 → 2「改善の必要性」の検証・評価以降、すべて記載

平成28年度事務事業総点検 評価シート

(2) 「改善の必要性」の検証・評価

(1)有効性	①目標に対する進捗状況	事業実施により意図した成果が得られているか検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 不十分 デジタル化資料(ウェブサイト)の閲覧件数は年々増加傾向にあり、利用者の多様化・高度化する学習ニーズに合った図書館サービスを提供しています。							
	②成果向上の余地	今以上に成果が向上する可能性があるか検証し、判断の理由を記入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある 現在、法情報や新聞記事等3種類の外部データベースを提供していますが、図書館情報館では、地域を支える総合情報拠点として利用者の課題解決を支援するため、外部データベースの活用促進にも重点を置き、利用者の拡大、利用データベースの種類を増やします。							
	③上位施策への貢献度	事業実施により上位の施策の実現に貢献しているか検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い 図書館情報館を地域や市民の「学び」「交わり」「健やか」に資する施設とするためにも、デジタル化資料や外部データベース等の提供は重要な要素です。							
(2)効率性	①民間活力等の活用	外部委託や指定管理者制度の導入、NPO等の活用による事業実施が可能か検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 可能 地域資料のデジタル化については、すでに外部委託を行っています。							
	②事業費の削減	現在の成果水準のまま事業費の削減が可能か検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 可能 法情報や新聞記事等の外部データベースの使用料や通信サービスの利用料については、定額料金制であり、現行契約において事業費の削減は困難です。							
	③事業の効率化・簡素化	実施方法の見直しや創意工夫により、事業の効率化・簡素化の可否を検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 可能 外部委託と使用料(利用料)で構成されている本事業は、既に事務の効率化・簡素化が十分に行われており、これ以上の見直しは困難です。							
	④事務事業のスリム化	事務事業の統合や分割により、効果の向上を図ることができるか。できる場合は内容を記入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 分割 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:20%;">既存の事務事業</td> <td style="width:30%;">地域電子図書館構築事業</td> <td style="width:30%;">図書館情報館機能整備事業</td> <td style="width:20%;"></td> </tr> <tr> <td>再編後の事務事業</td> <td>図書館情報館機能整備事業</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (内容) 地域電子図書館構築事業もICT(情報通信技術)を活用した図書館情報館の整備に資する取組みであるため、図書館情報館機能整備事業に一本化し、事務の軽減及び経費の削減が可能です。	既存の事務事業	地域電子図書館構築事業	図書館情報館機能整備事業		再編後の事務事業	図書館情報館機能整備事業	
既存の事務事業	地域電子図書館構築事業	図書館情報館機能整備事業							
再編後の事務事業	図書館情報館機能整備事業								
		削減額見込(概算)	0 千円						
(3)公平性	①事業規模・サービス水準	環境変化や他の自治体等との比較により、当市の事業規模やサービス水準の可否を検証し、判断理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 適正 <input type="checkbox"/> 過大 <input type="checkbox"/> 過小 他の公立図書館と比較して、提供しているサービスの内容はほぼ同じ水準ですが、図書館情報館では、地域を支える総合情報拠点として利用者の課題解決を支援するため、継続実施するべきと考えます。							
	②受益者負担	受益者負担の適否を検証し、判断の理由を記入 <input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 適正 <input type="checkbox"/> 過大 <input type="checkbox"/> 過小 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> 問題ない <input type="checkbox"/> 検討必要 図書館法第17条で、「公立図書館は、入館料その他図書館資料の利用に対するいかなる対価をも徴収してはならない。」と規定されています。							
「改善の必要性」の評価		<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無(現状維持)	<table border="1" style="border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:20%; text-align: center;"> <input type="checkbox"/> 見直し  <input type="checkbox"/> 拡充  <input checked="" type="checkbox"/> 縮小・統合                 </td> <td style="width:80%; text-align: center;">                     目標 28 年度                 </td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小・統合	目標 28 年度				
<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小・統合	目標 28 年度								

平成28年度事務事業総点検 評価シート

Action【今後の方向性】

改善取組	課題	活動実績・成果・事業評価の内容を踏まえて記入 デジタル化資料(ウェブサイト)の閲覧件数は年々増加傾向にありますが、まだ目標には達しておらず、今以上に質の高い図書館サービスを行うことができるような取組みや新たな利用者を開拓していく必要があると考えます。	
	改善取組	上記課題に対する平成28年度における改善取組 図書情報館では、利用者のニーズに沿ったデータベース、健康・子育てやビジネス等に関するデータベースを提供できるように調査研究します。 また、新たに構築する図書情報館のウェブサイト(平成29年2月開設)では積極的な情報の発信やサービスの提供を行います。	
主管課評価 (再掲)	事業の必要性		改善の必要性
	必要性が低い	必要性が高い	
	<input type="checkbox"/> A 直ちに廃止 <input type="checkbox"/> B 30年度までに廃止 <input type="checkbox"/> C 33年度までに廃止 目標 0 年度 <input type="checkbox"/> D 廃止困難	<input checked="" type="checkbox"/> E 継続	<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 現状維持
評価の総括	ICT(情報通信技術)を活用した図書情報館の整備に資する図書情報館機能整備事業との統合により、事務事業のスリム化を図ります。		

平成28年度事務事業総点検 評価シート

事業番号	789	所属	市民生活部中央図書館図書係			起案者	加藤 康平
事業名	読書活動推進事業					決裁者	岡田 知之
事業区分	<input type="checkbox"/>	義務的	<input type="checkbox"/>	経常的	<input checked="" type="checkbox"/>	政策的	連絡先
							0566-76-6111
事務事業の分類	<input type="checkbox"/>	企画計画立案	<input type="checkbox"/>	調査・研究	<input type="checkbox"/>	規制・指導	<input checked="" type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	内部管理	<input type="checkbox"/>	広報・普及啓発	<input type="checkbox"/>	徴収・収納	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	施設管理	<input type="checkbox"/>	窓口、受付	<input type="checkbox"/>	用地取得・処分	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	施設設計・建設	<input checked="" type="checkbox"/>	イベント・講座	<input type="checkbox"/>	現業業務	<input type="checkbox"/>
							育成・支援・相談
							補助・助成・手当・サービス給付
							検査・審査・監査
							その他

Plan【事業概要】

総合計画体系	第7次	4-1-1-4-1		予算科目	会計	一般会計		
	第8次	14-4-①			款	50	教育費	
					項	25	社会教育費	
					目	55	図書館費	
市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	該当	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	H28当初予算説明書該当ページ			
実施計画	<input checked="" type="checkbox"/>	該当	<input type="checkbox"/>	非該当				315
総合計画以外の計画	安城市新図書館基本計画・安城市図書情報館ICT化基本構想・第3次安城市子ども読書活動推進計画							
根拠法令	有	図書館法・文字活字文化振興法・子どもの読書活動の推進に関する法律						
議会答弁	有	H28.3子ども読書活動の推進/H28.3移動図書館の導入						
陳情・市民要望	有	中央図書館利用者満足度アンケート(隔年度で実施)						
実施方法	直営		委託先					
実施期間	開始	昭和 24 年度			終期	平成	年度	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が			~になる				
	より多くの市民が			読書に親しみ、読書活動を通じて豊かな心を育むことができるようになる				
事務事業の内容 (手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもが読書に親しみ、絵本の楽しさと豊かな感性を育むため、出前おはなし会・定期的なおはなし会等を開催します。</li> <li>読み聞かせボランティアの養成とスキルアップの支援、駅前読書交流会を開催します。</li> <li>保健センターの4か月児健診終了後に、読み聞かせの実演とともに、赤ちゃん向け絵本と新美南吉絵本大賞作品と一緒に配付する安城版ブックスタート事業を実施します。</li> </ul>							
事務の内容	出前おはなし会・定期的なおはなし会等の開催、ボランティア養成・スキルアップ講座の開催、駅前読書交流会、安城版ブックスタート事業 等							

Do【事業費(千円)、事業実績(活動・成果)】

	No	区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
			実績	実績	実績	予算
年間事業費等推移	① 歳出	事業費 (千円)	8,288	2,312	2,098	4,095
		需用費	5,736	37	1,225	1,480
		役務費	48	23	28	314
		委託料	0	0	0	920
		使用料及び賃借料	67	2	2	5
		負担金、補助及び交付金	0	0	0	0
		その他	2,437	2,250	843	1,376
	②	人件費	14,490	9,450	9,450	9,450
		正規職員 (人)	2.3	1.5	1.5	1.5
		臨時職員人件費 (千円)	0	0	0	0
③	年間経費(①+②) (千円)	22,778	11,762	11,548	13,545	
④ 歳入	特定財源(市税等の一般財源以外) (千円)	5	0	165	129	
	国庫・県支出金 (千円)	0	0	0	0	
	受益者負担金 (千円)	0	0	0	0	
	その他 (千円)	5	0	165	129	
⑤	一般財源(③-④) (千円)	22,773	11,762	11,383	13,416	

平成28年度事務事業総点検 評価シート

活動実績	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度計画				
	全公立幼稚園・保育園への出前おはなし会の開催 (438回)	全公立幼稚園・保育園への出前おはなし会の開催 (498回)	全公立幼稚園・保育園への出前おはなし会の開催 (510回)	全公立幼稚園・保育園への出前おはなし会の開催 (430回)				
	ボランティア養成・スキルアップ講座の開催 (34回)	ボランティア養成・スキルアップ講座の開催 (26回)	ボランティア養成・スキルアップ講座の開催 (3回)	ボランティア養成・スキルアップ講座の開催 (3回)				
	安城版ブックスタートの実施 (32回)	安城版ブックスタートの実施 (48回)	安城版ブックスタートの実施 (48回)	安城版ブックスタートの実施 (48回)				
成果	成果指標		単位	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	図書館での定期的なおはなし会の参加人数		人	目標	3,700	3,700	3,700	3,100
				実績	3,148	3,067	3,483	
	ボランティア養成・スキルアップ講座の参加人数		人	目標	170	180	200	90
実績				192	213	88		

Check【事業評価】

(1) 「事業の必要性」の検証・評価

(1)必要性	①行政関与の必要性	義務的な事務事業及び経常的な事務事業か <input checked="" type="checkbox"/> いいえ	→	④「事業の必要性」の評価 必要性が高い <input checked="" type="checkbox"/> E 継続 ※2「改善の必要性」の評価へ
	②特定項目	<input type="checkbox"/> 国・県・民間事業者等が同様のサービスを行っている <input type="checkbox"/> 社会情勢の変化等により市民ニーズの必要性が低下している事業や市民ニーズを把握しておらずニーズが不明な事業である <input type="checkbox"/> 該当する	→	
	③第8次総合計画との関連性	第8次総合計画に体系付けられているか <input type="checkbox"/> いいえ	→	
④「事業の必要性」の評価	<input type="checkbox"/> 廃止 必要性が低い <input type="checkbox"/> D 廃止困難(必要性を再評価)	( <input type="checkbox"/> A 直ちに廃止 <input type="checkbox"/> B 30年度までに廃止 <input type="checkbox"/> C 33年度までに廃止 目標 年度                 )		
⑤事業を廃止した場合の影響・廃止困難な理由など				

※④で、A～Dのいずれを選択した場合も、⑤は必須。

⑤記載後 A～Cを選択している場合 → Action【今後の方向性】へ

Dを選択している場合 → 2「改善の必要性」の検証・評価以降、すべて記載

平成28年度事務事業総点検 評価シート

(2) 「改善の必要性」の検証・評価

(1)有効性	①目標に対する進捗状況	事業実施により意図した成果が得られているか検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 不十分 公民館を拠点に活動する読み聞かせボランティアを養成した結果、平成26年度からは全ての公民館(昭林公民館を含む)において、おはなし会を定期的に開催しています。							
	②成果向上の余地	今以上に成果が向上する可能性があるか検証し、判断の理由を記入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある 図書情報館では、紙媒体だけでなく、パソコンやスマートフォン、タブレット端末等を利用した電子絵本や電子紙芝居、電子図書を導入し、新たな読書スタイルを提供していきます。							
	③上位施策への貢献度	事業実施により上位の施策の実現に貢献しているか検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い 第3次安城市子ども読書活動推進計画の基本理念である「読書を通じて子どもの豊かな心を育み、健やかな成長を目指します。」を実現するためにも、出前おはなし会・定期的なおはなし会や安城版ブックスタート事業等は重要な取組みです。							
(2)効率性	①民間活力等の活用	外部委託や指定管理者制度の導入、NPO等の活用による事業実施が可能か検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 可能 出前おはなし会・定期的なおはなし会や安城版ブックスタート事業等については、すでに読み聞かせボランティアと協働により実施しています。							
	②事業費の削減	現在の成果水準のまま事業費の削減が可能か検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 可能 読み聞かせボランティアの謝礼と外部委託料等で構成されている本事業は、既に事業費の削減が十分に行われており、これ以上の見直しは困難です。							
	③事業の効率化・簡素化	実施方法の見直しや創意工夫により、事業の効率化・簡素化の可否を検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 可能 読み聞かせボランティアとの協働と外部委託等で構成されている本事業は、既に事務の効率化・簡素化が十分に行われており、これ以上の見直しは困難です。							
	④事務事業のスリム化	事務事業の統合や分割により、効果の向上を図ることができるか。できる場合は内容を記入 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 分割 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:30%;">既存の事務事業</td> <td style="width:20%;"></td> <td style="width:20%;"></td> <td style="width:20%;"></td> </tr> <tr> <td>再編後の事務事業</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (内容) 	既存の事務事業				再編後の事務事業		
既存の事務事業									
再編後の事務事業									
		削減額見込(概算)	0 千円						
(3)公平性	①事業規模・サービス水準	環境変化や他の自治体等との比較により、当市の事業規模やサービス水準の可否を検証し、判断理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 適正 <input type="checkbox"/> 過大 <input type="checkbox"/> 過小 他の公立図書館と比較しても、提供しているサービスの内容は高い水準ですが、更なる市民の読書環境の整備と充実に努めるため、継続実施するべきと考えます。							
	②受益者負担	受益者負担の適否を検証し、判断の理由を記入 <input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 適正 <input type="checkbox"/> 過大 <input type="checkbox"/> 過小 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> 問題ない <input type="checkbox"/> 検討必要 子どもの読書活動の推進に関する法律第4条で、「地方公共団体は、(中略)、その地域の実情を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。」と規定されており、受益者負担に馴染まないと考えます。							
「改善の必要性」の評価		<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無(現状維持)	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 目標 29 年度						

平成28年度事務事業総点検 評価シート

Action【今後の方向性】

改善取組	課題	活動実績・成果・事業評価の内容を踏まえて記入 図書館での定期的なおはなし会の参加人数は前年度実績を上回りましたが、まだ目標には達しておらず、今以上に質の高い図書館サービスを行うことができるような取組みや新たな利用者を開拓していく必要があると考えます。 また、1か月間に1冊も本を読まなかった子どもの割合（不読率）が、学校段階が進むにつれて高くなっているため、中学生・高校生の読書環境の整備と図書館の利用促進を図る必要があると考えます。		
	改善取組	上記課題に対する平成28年度における改善取組 ティーンズコーナーの蔵書の充実を図るとともに、現在隔月で発行している中学生・高校生向けのおすすめ本を紹介する情報紙に加えて、新たに構築する図書情報館のウェブサイト（平成29年2月開設）での積極的な情報発信やメール配信サービスを行い、中学生・高校生の読書に対する関心を高めていきます。		
主管課評価 （再掲）	事業の必要性		改善の必要性	
	必要性が低い	必要性が高い		
	<input type="checkbox"/> A 直ちに廃止 <input type="checkbox"/> B 30年度までに廃止 <input type="checkbox"/> C 33年度までに廃止 目標 0 年度 <input type="checkbox"/> D 廃止困難	<input checked="" type="checkbox"/> E 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 現状維持	目標 平成 29 年度
評価の総括	第3次安城市子ども読書活動推進計画に基づき、子どもに本の楽しさと出会いの場を提供し、子どもの発達段階に応じた読書活動の推進と読書環境の整備を進めます。 さらに、図書情報館では、既存の公民館などの図書室との連携に加え、新たに小中学校図書室とのネットワークを構築することにより、更なる子どもの読書環境の充実を図ります。			

平成28年度事務事業総点検 評価シート

事業番号	1105	所属	市民生活部中央図書館施設管理係			起案者	天野美喜太
事業名	図書情報館機能整備事業					決裁者	岡田 知之
事業区分	<input type="checkbox"/>	義務的	<input type="checkbox"/>	経常的	<input checked="" type="checkbox"/>	政策的	連絡先
							0566-76-6111
事務事業の分類	<input type="checkbox"/>	企画計画立案	<input type="checkbox"/>	調査・研究	<input type="checkbox"/>	規制、指導	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	内部管理	<input type="checkbox"/>	広報・普及啓発	<input type="checkbox"/>	徴収・収納	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	施設管理	<input type="checkbox"/>	窓口、受付	<input type="checkbox"/>	用地取得・処分	<input type="checkbox"/>
	<input checked="" type="checkbox"/>	施設設計・建設	<input checked="" type="checkbox"/>	イベント・講座	<input type="checkbox"/>	現業業務	<input type="checkbox"/>
							育成・支援・相談
							補助・助成・手当・サービス給付
							検査・審査・監査
							その他

Plan【事業概要】

総合計画体系	第7次	5-3-1-2-1		予算科目	会計	一般会計		
	第8次	14-4-⑨			款	50	教育費	
					項	25	社会教育費	
					目	55	図書館費	
市長マニフェスト	<input checked="" type="checkbox"/>	該当	<input type="checkbox"/>	非該当	H28当初予算説明書該当ページ		317	
実施計画	<input checked="" type="checkbox"/>	該当	<input type="checkbox"/>	非該当				
総合計画以外の計画	新図書館基本計画							
根拠法令	無							
議会答弁	有 H27年9月定例会:同事業の債務負担行為の補正							
陳情・市民要望	無							
実施方法	一部委託	委託先	民間企業					
実施期間	開始	平成 26 年度			終期	平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> なし		
求める成果 (目的)	誰(受益者)が			~になる				
	多くの利用者が			来館され、図書資料や情報の提供、快適な空間を体感するなどのサービスを受けられるようになる				
事務事業の内容 (手段)	プロポーザルにより選定した業務委託企業(民間)とともに、図書館運営の基本業務システムの整備や、利用者への新たなサービスの提供に向けた館の整備・開発を進めます。							
事務の内容	平成29年6月開設の図書情報館をICT(情報通信機器)を駆使した最先端の図書と情報拠点とするため、各種事業を展開します。また、図書情報館を広く周知し、新規利用者獲得のための講座や講演会を開催するとともに、デジタルコンテンツの開発・整備を進めます。							

Do【事業費(千円)、事業実績(活動・成果)】

	No	区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
			実績	実績	実績	予算
年間事業費等推移	① 歳出	事業費 (千円)	0	16,959	29,968	872,606
		需用費				22,079
		役務費				
		委託料		16,368	8,968	848,232
		使用料及び賃借料			23	945
		負担金、補助及び交付金				0
		その他		591	20,977	1,350
	② 人件費	正規職員 (人)	0	9,450	9,450	12,600
		臨時職員人件費 (千円)				
		年間経費(①+②) (千円)	0	26,409	39,418	885,206
④ 歳入	特定財源(市税等の一般財源以外) (千円)	0	0	0	0	
	国庫・県支出金 (千円)					
	受益者負担金 (千円)					
	その他 (千円)					
⑤ 一般財源(③-④) (千円)	0	26,409	39,418	885,206		

平成28年度事務事業総点検 評価シート

活動実績	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度計画			
			ICT化基本構想を策定し、今後進めるべき図書館のICT化のビジョンとコンセプトを定め、検討すべき事項の抽出を行いました。	ICT化基本構想をもとに、図書館ICT化の業務委託業者を選定を行いました。さらに、新たな館にふさわしい講演会や講座を行い、ソフト面での準備を進めます。	業務委託業者とともに開発・整備を進めるとともに、必要備品・消耗品の調達を行うなど、開館に向けた準備を進めます。さらに、新たな館にふさわしい講演会や講座を引き続き行い、ソフト面での準備を進めます。		

  

成果	成果指標	単位	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	図書館ICT化機器構築・運用進捗率	%	目標	0	0	0	60
			実績	0	0	0	
			目標				
実績							

Check【事業評価】

(1) 「事業の必要性」の検証・評価

(1)必要性	①行政関与の必要性	義務的な事務事業及び経常的な事務事業か <input checked="" type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> はい	→	④「事業の必要性」の評価 必要性が高い <input checked="" type="checkbox"/> E 継続 ※2「改善の必要性」の評価へ
	②特定項目	<input type="checkbox"/> 国・県・民間事業者等が同様のサービスを行っている <input type="checkbox"/> 社会情勢の変化等により市民ニーズの必要性が低下している事業や市民ニーズを把握しておらずニーズが不明な事業である <input type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない	→	
	③第8次総合計画との関連性	第8次総合計画に体系付けられているか <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> はい	→	
④「事業の必要性」の評価	必要性が低い	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> D 廃止困難(必要性を再評価)	( <input type="checkbox"/> A 直ちに廃止 <input type="checkbox"/> B 30年度までに廃止 <input type="checkbox"/> C 33年度までに廃止 目標 年度                 )	
⑤事業を廃止した場合の影響・廃止困難な理由など				

※④で、A～Dのいずれを選択した場合も、⑤は必須。

⑤記載後 A～Cを選択している場合 → Action【今後の方向性】へ

Dを選択している場合 → 2「改善の必要性」の検証・評価以降、すべて記載

平成28年度事務事業総点検 評価シート

(2) 「改善の必要性」の検証・評価

(1)有効性	①目標に対する進捗状況	事業実施により意図した成果が得られているか検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 不十分 H27年度にプロポーザルにより委託業者を選定し長期契約を締結したためです。							
	②成果向上の余地	今以上に成果が向上する可能性があるか検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある 長期にわたる業務委託のためこれ以上の成果の向上はなしと判断します。							
	③上位施策への貢献度	事業実施により上位の施策の実現に貢献しているか検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い 利用者への利便性の向上と快適な空間の提供が可能となります。また、講座や講演会を行うことで、ソフト面での利用者の充実を図ることができます。							
(2)効率性	①民間活力等の活用	外部委託や指定管理者制度の導入、NPO等の活用による事業実施が可能か検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 可能 長期にわたる業務委託のためこれ以上は不可とします。							
	②事業費の削減	現在の成果水準のまま事業費の削減が可能か検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 可能 長期にわたる業務委託のため不可とします。							
	③事業の効率化・簡素化	実施方法の見直しや創意工夫により、事業の効率化・簡素化の可否を検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 可能 長期にわたる業務委託のため、不可とします。ただし、運用保守業務が5年経過した時点で見直しを行います。							
	④事務事業のスリム化	事務事業の統合や分割により、効果の向上を図ることができるか。できる場合は内容を記入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 分割 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:20%;">既存の事務事業</td> <td style="width:30%;">図書情報館機能整備事業</td> <td style="width:30%;">地域電子図書館構築事業</td> <td style="width:20%;"></td> </tr> <tr> <td>再編後の事務事業</td> <td>図書情報館機能整備事業</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (内容) 地域電子図書館構築事業もICT(情報通信技術)を活用した図書情報館の整備に資する取組みであるため、図書情報館機能整備事業に一本化し、事務の軽減及び経費の削減が可能です。	既存の事務事業	図書情報館機能整備事業	地域電子図書館構築事業		再編後の事務事業	図書情報館機能整備事業	
既存の事務事業	図書情報館機能整備事業	地域電子図書館構築事業							
再編後の事務事業	図書情報館機能整備事業								
		削減額見込(概算) 千円							
(3)公平性	①事業規模・サービス水準	環境変化や他の自治体等との比較により、当市の事業規模やサービス水準の可否を検証し、判断理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 適正 <input type="checkbox"/> 過大 <input type="checkbox"/> 過小 新たな施設として整備中のため、現在は適正と判断します。							
	②受益者負担	受益者負担の適否を検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 適正 <input type="checkbox"/> 過大 <input type="checkbox"/> 過小 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 問題ない <input type="checkbox"/> 検討必要 有料の貸し部屋において同類施設を参照し使用料設定を行いました。							
「改善の必要性」の評価		<input checked="" type="checkbox"/> 有 <table style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <input type="checkbox"/> 見直し  <input type="checkbox"/> 拡充  <input checked="" type="checkbox"/> 縮小・統合                             </td> </tr> </table> 目標 28 年度 <input type="checkbox"/> 無(現状維持)	<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小・統合						
<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小・統合									

平成28年度事務事業総点検 評価シート

Action【今後の方向性】

改善取組	課題	活動実績・成果・事業評価の内容を踏まえて記入 平成29年度のアンフォーレ・図書情報館移転を見据え、組織及び事業の再編が必要になります。	
	改善取組	上記課題に対する平成28年度における改善取組 平成29年度のアンフォーレ・図書情報館移転を見据え、組織の再編を念頭においた、事業の洗い出しと再編を行います。	
主管課評価 (再掲)	事業の必要性		改善の必要性
	必要性が低い	必要性が高い	
	<input type="checkbox"/> A 直ちに廃止 <input type="checkbox"/> B 30年度までに廃止 <input type="checkbox"/> C 33年度までに廃止 目標 0 年度 <input type="checkbox"/> D 廃止困難	<input checked="" type="checkbox"/> E 継続	<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 現状維持
評価の総括	アンフォーレへの移行に伴い、組織の再編が必然となるため、事務事業についてもこれまでの係の枠を取り払い現中央図書館すべての事務事業を洗い出し、再編することでより効果的な改善を図っていきます。		